

平成30年度

学生募集要項

(一般入試)

国立大学法人

滋賀医科大学

SHIGA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE

目 次

理念等	1
入学者選抜関係日程	6
学生募集要項	7
募集人員	
試験実施方式等	
出願資格	8
出願手続	9
選抜方法等	11
合格者発表	13
入学手続	
出願資格審査	14
障害等のある入学志願者との事前相談	15
欠員の補充	
入試情報サービス	16
入学試験個人成績の開示	
個人情報の取扱い	17
出願書類記入上の注意	18
入学志願票	
電算処理原票	
受験票・写真票	
学内の略図	19
医学科における研究医の養成について	20
大学案内	21
(詳細については大学案内パンフレットを参照してください。)	
入学時の諸経費	
修学費援助	
学生教育研究災害傷害保険	
アパート等	
アルバイト	
課外活動	
福利・厚生	
健康管理	
通学の交通機関	

理 念 等

理 念

滋賀医科大学は、地域の特徴を生かしつつ、特色ある医学・看護学の教育・研究により、信頼される医療人を育成すること、さらに、世界に情報を発信する研究者を養成することにより、人類の健康、医療、福祉の向上と発展に貢献する。

教育理念

豊かな教養と高い専門的知識及び技能を授けるとともに、確固たる倫理観を備え、科学的探究心を有する医療人及び研究者を養成する。

教育目標

- (1) 課題探求、問題解決型学習を通して、適切な判断力と考察する能力を養う。
- (2) 豊かな教養を身につけ、医療人としての高い倫理観を養う。
- (3) コミュニケーション能力を持ち、チーム医療を実践する協調性を培う。
- (4) 参加型臨床（地）実習を通して、基本的な臨床能力を習得する。
- (5) 国際交流に参加しうる幅広い視野と能力を身につける。

入学者の受入れに関する方針（医学科アドミッション・ポリシー）

近年、生命科学の分野は著しく進歩し、医学に関する知識量は膨大となり、また新たな学問分野も生まれつつある。一方、医学・医療に対する社会のニーズは多様化し、医学・医療のみならず、生命科学、福祉、国際医療など様々な分野において、有能な人材が求められている。このような状況の中、本学の理念に基づき、医療人に必要な学識・能力・技能を習得する素養を持ち、医学の修得に真摯に、また熱意を持って取り組む、次のような人材を求めている。

○求める学生像

1. 医学の修得に必要な幅広い基礎学力と応用力を有する者
2. 十分なコミュニケーション能力を持ち、協調性や他者への思いやりのある者
3. 大いなる好奇心を持って、自ら考え自ら解決する気概のある者
4. 地域医療に深い関心を持ち、特に滋賀県の医療に貢献する意欲を持つ者
5. 国内外における医学・医療研究の実践及び発展のために、生涯を通じて真摯に取り組む者

○入学者選抜の基本方針

「求める学生像」に沿った人材を選抜するために、一般入試、推薦入試（滋賀県枠を含む）、第2年次後期学士編入学試験（地域枠を含む）を行っている。

滋賀県枠、地域枠では、滋賀県の医療に情熱を持って従事しようとする者を望んでいる。

一般入試（前期日程）

大学入試センター試験、個別学力検査、面接及び調査書を総合して選抜を行う。大学入試センター試験では幅広い基礎学力を測り、個別学力検査では、「数学」、「理科」、「外国語（英語）」を課すことにより、自然科学分野における幅広い教養と深い知識、応用力とともに、理解力、読解力、語学力を測る。面接及び調査書では意欲、協調性、倫理観、コミュニケーション能力等を評価する。

教育課程の編成及び実施に関する方針（医学科カリキュラム・ポリシー）

1. 一般教養科目、医の倫理、医学英語を6年一貫教育カリキュラムの中に配置して、豊かな教養や国際性、医療人としての確固たる倫理観及び社会性を養う。

また、医学医療に直接関連する授業科目や実習を入学後早期から開講し、学生の医学修得の動機付けを積極的に行う。

2. 基礎医学科目では、講義に加えて少人数で行う実習と演習も重視して、基本的概念の理解を助ける。臨床医学では、臓器・器官別に講義を行い、疾患の系統的理解を助ける。
3. 横断的臨床領域の具体的な症例をグループ討論や個人学習で学ぶ少人数能動学習を行い、問題発見・解決能力、自己開発能力、臨床推論能力を養う。さらにはコミュニケーション能力や協調性

の育成も図る。

4. 学内臨床実習では、学生はスチューデントドクター（Student Doctor）として、指導医（教員）の教育・指導のもとに診療チームの一員として診療に参加し、基本的臨床技能や臨床推論能力を身につける。さらに、学外臨床実習では、地域の医療機関で実習を行い、地域医療や福祉・介護の実際を体験して、その理解を図る。
5. 自ら研究テーマを設定し国内外で研究活動を行う研究室配属（自主研修）により、医学研究を体験し、研究に対する意欲や理解力を養う。
6. 医学概論、医学特論、公衆衛生学・社会医学フィールド実習などの講義・実習を通して、国内外の保健や医療行政など人々の健康増進に必要な社会医学の役割と課題について理解を深める。

卒業の認定に関する方針（医学科ディプロマ・ポリシー）

1. 豊かな人間性と確固たる倫理観を身につけ、医のプロフェッショナルリズムを実践することができる。
2. 発展し続ける基礎医学、行動科学、社会医学、臨床医学を十分に理解して、それらを診療や研究の場で活用することができる。
3. 基本的臨床技能や臨床推論能力を持ち、かつ実践することができる。
4. 十分なコミュニケーション能力や協調性を持ち、患者や医療スタッフと良好な関係を築き、多職種間連携も円滑に行うことができる。
5. 自己主導型学習能力や生涯学習態度を身につけ、それらを実践することができる。
6. 福祉・介護を含む地域医療に対して十分な理解を有し、地域社会の要請に応えることができる。
7. 研究マインドを持ち、基本的研究手技を習得し、医学研究を通して国際的に貢献する素養を身につけている。
8. 国内及び国際社会における保健と医療行政を理解し実践することができる。

入学者の受入れに関する方針（看護学科アドミッション・ポリシー）

本学の理念に基づき、高い教養と高い倫理観を備えた看護職の育成を目指しており、卒業生が看護師、保健師、助産師として地域に貢献し、また看護職者としてのスペシャリストや管理職、教育者・研究者として活躍できることを目標としている。そのため、看護職に必要な学識・能力・技能を習得する素養を持ち、看護学の修得に真摯に、また熱意を持って取り組む、次のような人材を求めている。

○求める学生像

1. 看護学の修得に必要な基礎学力を持っている者
2. 十分なコミュニケーション能力を持ち、協調性や他者への思いやりのある者
3. 能動的学習や生涯学習ができる者
4. 地域の保健・医療・福祉に理解を示す者

○入学者選抜の基本方針

「求める学生像」に沿った人材を選抜するために、一般入試、推薦入試、第3年次編入学試験を行っている。

一般入試（前期日程）

大学入試センター試験、個別学力検査、面接及び調査書を総合して選抜を行う。大学入試センター試験による学力評価に加え、個別学力検査では、「小論文」で理解力、思考力及び表現力など理論的に判断・推理を重ねて対象をとらえる力を測り、面接及び調査書では論理性、協調性、コミュニケーション能力等を評価する。

教育課程の編成及び実施に関する方針（看護学科カリキュラム・ポリシー）

1. 教養科目と基礎科目の統合を図り、自然環境から社会の仕組みまでを健康との関係で捉え、個としての人間や人間の生命活動の理解を助ける。
2. 専門科目では理論と実践を統合するとともに、附属病院との連携・協力により医療者として必要な知識や倫理観、実践的看護技術を養う。
3. 国内外の保健・医療・福祉環境の変化に関心を持ち、世界的視野にもとづく健康課題を学び、国際的な支援活動のあり方やその方法について理解する。
4. 包括的な保健・医療・福祉の実践並びに多職種との連携・協働に不可欠なコミュニケーション能力を強化する授業科目の開講や医学科との合同授業を行う。
5. 看護研究方法論等を配置し、臨床的知見を踏まえた看護学研究や論文作成の方法を教授するとともに、学会や研究会への参加を促す。
6. 公衆衛生看護活動における地域診断の基本的知識及び住民の健康課題の解決に必要な基本

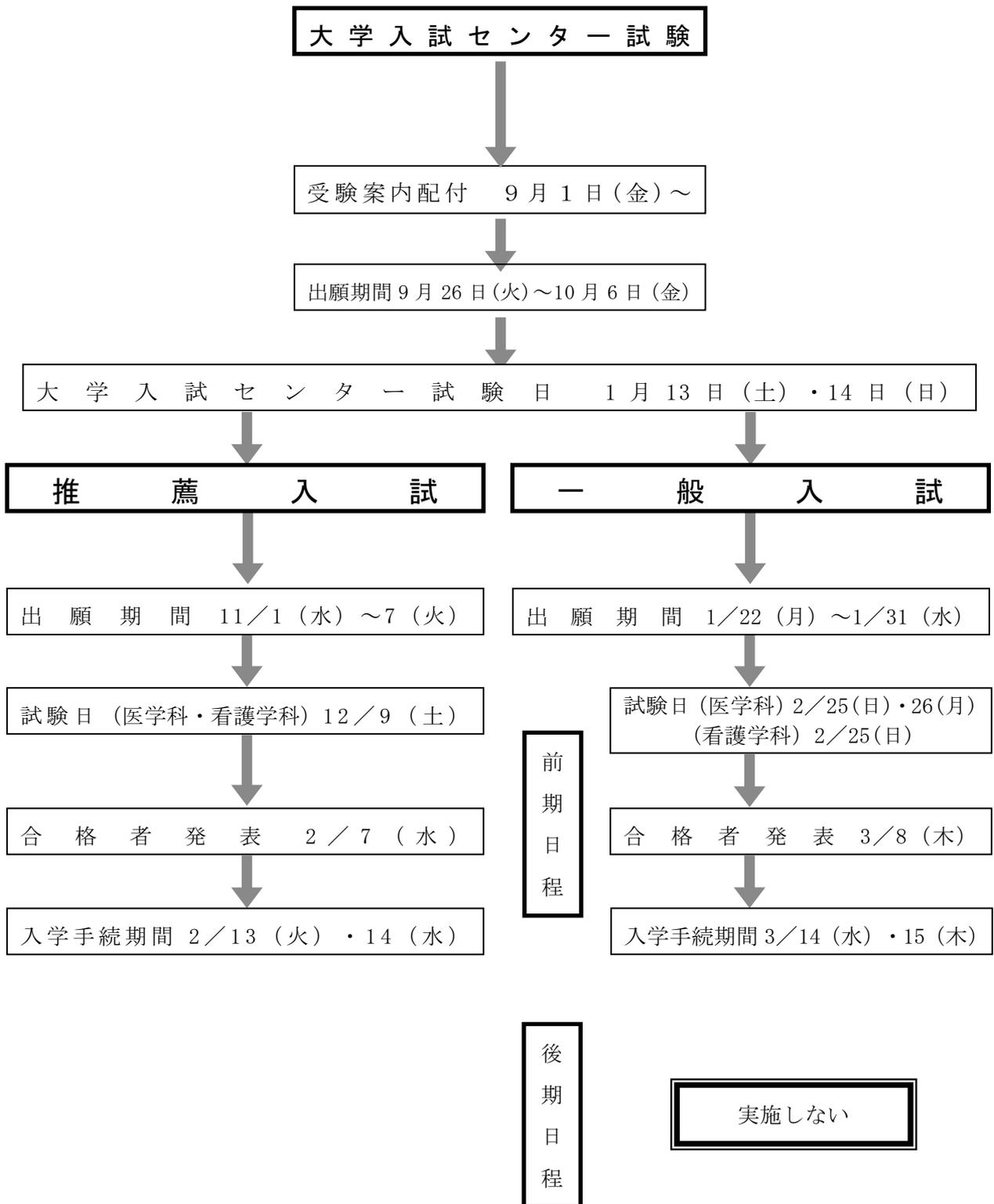
的技術を身につける。

7. 母子保健や女性の健康に関する課題について、助産師に求められる役割と責任を理解し必要な助産診断と助産技術を身につける。

卒業の認定に関する方針（看護学科ディプロマ・ポリシー）

1. 豊かな人間性並びに幅広い教養と倫理観にもとづいた専門知識を身につけ、病者や障がい者への看護だけでなく広く人々の健康生活を支援することができる。さらに、国際的見地により健康問題を考えることができる。
2. 十分なコミュニケーション能力や協調性を持ち、患者や医療スタッフと良好な関係を築き、多職種と連携・協働することができる。
3. 自ら積極的に課題を発見し解決する能力や研究する態度など、専門職あるいは将来の研究者としての基本的な研究手法等の素養を身につけている。
4. 人々の健康で文化的な生活を営む権利を保障するために、保健師の社会的意義や活動の可能性を理解し、主体的な公衆衛生看護活動を行うために必要な能力を有する。
5. 助産診断に基づく助産ケアの実践と分娩介助などの周産期医療において助産師に求められる能力を有する。さらに、ウイメンズヘルスを生涯発達として理解し、健康支援の方法が理解できる。

入学者選抜関係日程



学生募集要項

募集人員

学 科	入 学 定 員	募 集 人 員	
		前 期 日 程	後 期 日 程
医 学 科	97 (100 認可申請中)※	72 (75 認可申請中)※	募集しない
看 護 学 科	60	50	募集しない

(備考)

1. 入学定員には、推薦入試による募集人員（医学科25名・看護学科10名）を含みます。
2. 医学科一般入試（前期日程）に合格し、入学した者のうち、地域医療に強い意欲を持ち、卒業後、滋賀県内の病院で勤務する意思を有する者に対しては、滋賀県により「滋賀県医師養成奨学金」の制度が用意されています。貸与者数は5名で、選考は入学後に行いますが、貸与を希望する場合は、出願時に所定の用紙「滋賀県医師養成奨学金に関する意思確認書」により意思表示をしてください。

「滋賀県医師養成奨学金」は、滋賀県が特に本学医学部医学科の入学者を対象に設定する、将来、滋賀県内の病院で勤務する医師を養成するための奨学金制度です。制度の詳細は、下記に問い合わせてください。

「滋賀県医師養成奨学金」に関する問い合わせ先

〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1番1号

滋賀県庁 健康医療福祉部 医療政策課

(TEL) 077-528-3613 (FAX) 077-528-4859

※

医学科の入学定員及び募集人員について、「緊急医師確保対策」に基づき、平成21年度に開始した暫定措置としての増員3名（一般入試）は平成29年度で終了の予定でしたが、国において、この措置が医師不足が特に深刻な都道府県や、医師確保が必要とされる地域・診療科を対象として設けられた仕組みであることを踏まえ、この措置に係る定員の維持を可能とするとされたことを受け、本学においては、暫定措置の延長希望を申請中です。

また、この延長が認められた場合は、「滋賀県医師養成奨学金」の貸与者数も3名増の8名に変更される予定です。

なお、このことについては、確定後あらためて、本学インターネットホームページ (<http://www.shiga-med.ac.jp/>) 等でお知らせします。

試験実施方式等

実施方式

1. 一般入試は、前期日程のみで行います。
2. 本学の入学者の選抜においては、大学入試センター試験の成績の複数年度利用は行いません。

日程間の併願

1. 本学の前期日程に出願する者は、前期日程グループに属する他の大学・学部には出願できません。
2. 本学の前期日程と他の大学・学部の後期日程は併願することができます。

出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験において受験を要する教科・科目（下表）を受験した者

1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条（第1号から第5号）の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者
4. 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により、平成30年3月31日までに18歳に達する者で、教育施設において修業年限3年以上、高等学校に準ずるカリキュラム及び卒業に必要な総授業時数（例えば、平成14年度以降卒業者については、2,590単位時間以上（このうち、普通科目については420単位時間以上））を有する課程を修了又は平成30年3月31日までに修了見込みと本学において認定した者（※）

※ 上記4により出願を希望する者については、出願に先立ち本学の出願資格審査により、その認定を受ける必要があります。詳細については、14ページの「出願資格審査」を参照してください。

大学入試センター試験で受験を要する教科・科目

学 科	教 科	科 目	科目数
医 学 科	国 語	『国語』	1
	地理歴史 公 民	「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」, 『倫理, 政治・経済』から 1科目選択	1
	数 学	『数学Ⅰ・数学A』, 『数学Ⅱ・数学B』	2
	理 科	「物理」, 「化学」, 「生物」から2科目選択	2
	外 国 語	『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』から1科目選択	1
看護学科	国 語	『国語』	1
	地理歴史 公 民	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」, 「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 『倫理, 政治・経済』 から1科目選択	1
	数 学	「数学Ⅰ」, 『数学Ⅰ・数学A』, 「数学Ⅱ」, 『数学Ⅱ・数学B』から 1科目選択	1
	理 科	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」から2科目、又は、「物理」, 「化学」, 「生物」から1科目選択	2又 は1
	外 国 語	『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』から1科目選択	1

- (注) 1. 「地理歴史・公民」について、複数の科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。
 なお、医学科のこの取扱いにおいて、第1解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は、**受験資格を満たさないこと**になりますので、第1解答科目は、必ず本学が指定する科目の中から選択してください。
2. 看護学科の「数学」について、複数の科目を受験している場合は、高得点の科目の成績を用います。
 3. 看護学科の「理科」について、
 - ① 『基礎を付した』3科目（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」）から2科目及び『基礎を付していない』3科目（「物理」, 「化学」, 「生物」）から1科目を選択した場合は、『基礎を付した』2科目と『基礎を付していない』1科目のいずれか高得点の成績を用います。
 - ② 『基礎を付していない』3科目（「物理」, 「化学」, 「生物」）から2科目を選択した場合は、第1解答科目の成績を用います。
 4. 「外国語」の『英語』については、リスニングの成績を利用しません。

出 願 手 続

1. 出願期間

平成30年1月22日（月）～1月31日（水） 午後5時まで（必着）

- (1) 受付時間は、土曜日及び日曜日を除く日の午前9時から午後5時までです。
- (2) 郵送の場合は、期限までに必着するよう、郵送期間を十分考慮のうえ発送してください。

ただし、期限後に到着したもので、1月30日（火）以前の発信局消印がある『書留・速達郵便』に限り受け付けます。

2. 出願書類等の提出先及び照会先

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学 学生課入試室入学試験係 電話 077-548-2071（直通）

3. 出願書類等（※印は本学所定の用紙等）

書 類 等	備 考
入学志願票 ※	18ページの「出願書類記入上の注意」を参照のうえ、記入してください。
電算処理原票 ※	〃
受験票・写真票 ※	写真（3か月以内に撮影した正面上半身、無帽、縦4cm×横3cmのもの）を写真欄に貼付してください。
平成30センター試験成績請求票	大学入試センターから交付されたもののうち、「 前 平成30センター試験成績請求票 国公立前期日程用」を、「電算処理原票」の所定欄に貼付してください。
滋賀県医師養成奨学金に関する意思確認書 ※	滋賀県医師養成奨学金の貸与を希望する場合は、必要事項を記入の上、出願書類に同封してください。希望しない場合は送付しないでください。
調査書等	<p>1. 高等学校卒業者（卒業見込みの者を含む。） 文部科学省所定の様式により、出身高等学校長が作成し、厳封した調査書を提出してください。ただし、指導要録等の保存期間が経過した等の事情により調査書が得られない場合は、「卒業証明書」に加えて「成績証明書（又は単位修得証明書あるいは成績通信簿の写し）」を提出してください。 また、成績証明書（又は単位修得証明書）が提出できない場合は、卒業証明書に加えて学校長からの「発行できない旨の文書」を提出してください。成績通信簿の写しが提出できる場合は、「発行できない旨の文書」は不要です。 なお、廃校・被災その他の事情により上記の書類が提出できない場合は、出身高等学校を所管する教育委員会、知事又は出身高等学校長が作成したこれに関する証明書を提出してください。</p> <p>2. その他の者 (1) 高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）合格者は、合格成績証明書を提出してください。また、高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者は、合格見込成績証明書を提出してください（*）。ただし、一部の科目を高等学校等で修得した者は、在学期間中の調査書又は単位修得証明書を併せて提出してください。 * 合格見込成績証明書を提出して出願し、入学試験に合格した者は、入学手続の際、合格成績証明書を提出してください。提出がない場合は、合格が取り消しになります。</p> <p>(2) 高等専門学校第3学年修了者及び修了見込みの者並びに文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び修了見込みの者は、所定の調査書に準じて出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。</p>

調査書等	<p>(3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格(フランス共和国)取得者、ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格取得者、文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び修了見込みの者は、当該試験等の成績証明書等をもって調査書に代えることができます。</p> <p>(4) 本学において、個別の入学資格審査(出願資格審査)により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者は、本学発行の資格認定書の写しを提出してください。</p>
検定料納付確認書 ※ (巻末に綴込み)	入学検定料17,000円を、検定料振込用紙(本学所定の用紙・巻末に綴込み)を使用し、平成30年1月9日(火)から1月31日(水)の期間に銀行で振込んだ後、 収納印を受けた「振込金受領証明書」を貼付してください。
あて名票 ※	合格通知書及び入学手続書類を受ける宛先を記入してください。台紙は、はがさないでください。
受験票送付用封筒 ※	宛先を記入し、362円分の切手を貼付してください。

- (注) 1. いったん受理した出願書類は、理由の如何にかかわらず返還できません。
2. 出願書類等に記載事項の記入漏れ、その他不備のある場合は、受理しないことがあります。
3. 出願書類等受付後は、記載事項の変更は認めません。
4. 出願書類に虚偽の申告をした者は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

4. 出願方法

(1) 郵送の場合

出願書類等を取りまとめ、**本要項添付の所定の封筒により『書留・速達郵便』で送付**してください。

(2) 持参の場合

9ページ「出願手続2の提出先」に持参してください。

受付時間は、土曜日及び日曜日を除く日の午前9時から午後5時までです。

- (注) 1. 所定の封筒の志望学科欄に○印を付けてください。
2. 二人以上の分をまとめて郵送する場合は、志願者別にそれぞれ所定の封筒に封入してください。

5. 留意事項

- (1) 他の国公立大学(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除く。以下同じ)の推薦入試合格者は、当該推薦入試を実施する大学・学部の定める「推薦入学辞退手続」により入学辞退が認められた場合を除いては、本学の一般入試(前期日程)を受験しても合格者とはなりません。
- (2) 本学の一般入試(前期日程)に合格し、入学手続を行った者は、他の国公立大学の一般入試(後期日程)を受験していても合格者とはなりません。
- (3) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センターの受験番号に限って、合否及び入学手続等に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。
- (4) 受験票は、2月15日(木)までに、志願者宛に発送します。2月18日(日)を過ぎても到着しない場合は、9ページ「出願手続2の照会先」に至急電話連絡してください。
- (5) 入学検定料返還該当者への返還手続について
入学検定料返還の該当者は以下のとおりです。以下に該当しない者は理由の如何を問わず返還は行いません。該当する者は、9ページ「出願手続2の照会先」へ平成30年2月28日(水)までに申し出てください。
- ① 一部返還の場合 (返還金額 13,000円)
- (ア) 2段階選抜を実施した場合における第1段階選抜の不合格者
- (イ) 個別学力検査出願受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者

② 全額返還の場合 (返還金額 17,000 円)

(ア) 検定料を払い込んだが出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)者

(イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ者

選 抜 方 法 等

1. 選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験、個別学力検査、面接及び調査書を総合して行います。

ただし、大学入試センター試験及び個別学力検査等において、各学科が指定する教科・科目等を全科目受験していなければ、合格者にはなれません。

また、面接の段階評価が最低の場合は、総合点の如何にかかわらず不合格とします。

なお、総合点が同点の場合の合格者決定は、大学入試センター試験の成績(各学科が指定する教科・科目〔医学科5教科7科目900点満点、看護学科5教科5科目又は6科目700点満点〕)の上位者を合格者とします。

(注) 「滋賀県医師養成奨学金」について

(1) 出願時における「滋賀県医師養成奨学金」の貸与希望の有無は、合否の決定には一切影響しません。

(2) 「滋賀県医師養成奨学金」の貸与を希望して入学した者を対象に選考が行われ、5名の貸与者が決定されます。選考は経済状況や地域医療に対する強い意欲など、総合的な評価に基づいて行われます。選考の詳細については該当者に対し入学手続完了後に通知します。

2. 個別学力検査等の日程

学科	月 日	時 間	教 科 等	科 目 等
医 学 科	2月25日(日)	10:00~12:00	数 学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B
		13:30~16:00	理 科	『物理基礎・物理』, 『化学基礎・化学』, 『生物基礎・生物』から2科目選択
	2月26日(月)	10:00~11:30	外 国 語	コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ, 英語表現Ⅱ
		13:00~	面 接 (グループ)	午後1時から順次開始し、午後5時頃までには全員終了の予定です。
看 護 学 科	2月25日(日)	10:00~12:00	小 論 文	資料(英文を含む)に基づいて論述させ、理解力、思考力及び表現力等を評価する。
		13:30~	面 接 (グループ)	午後1時30分から順次開始し、午後5時頃までには全員終了の予定です。

(注) (1) 数学の出題範囲は次のとおりとします。

「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」は全範囲から出題します。

「数学B」は「数列」、「ベクトル」から出題します。

(2) 理科の出題範囲は次のとおりとし、各科目間で不利が生じないように配慮します。

『物理基礎・物理』は「物理基礎」、「物理」の全範囲から出題します。

『化学基礎・化学』は「化学基礎」、「化学」の全範囲から出題します。

『生物基礎・生物』は「生物基礎」、「生物」の全範囲から出題します。

- (3) 面接は、将来、医師、看護師、保健師、助産師又は研究者となるにふさわしい資質・適性の観点から評価します。
- (4) ① 本学のアドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。
ただし、必ず使用するとは限りません。
- ② 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、使用した過去問題については、入試終了後、受験者に分かるような形で公表します。
- ③ 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次の URL で公表されています。<http://www.nyushikakomon.jp>

3. 学力検査場

滋賀医科大学（19ページ「学内の略図」を参照）

なお、詳細については、2月23日（金）の午後1時までに受験者注意事項掲示場所に掲示します。

4. 大学入試センター試験と個別学力検査等の配点

学 科	区 分	国 語	地歴	公民	数 学	理 科	外国語	小論文	面 接	合 計
医学科	大 学 入 試 センター試験	200	100		100 ※1	100 ※1	100 ※1	—	—	600
	個別学力検査	—	—		200	100 100	200	—	※2	600
看護学科	大 学 入 試 センター試験	200	100		100	100	200	—	—	700
	個別学力検査	—	—		—	—	—	300	※2	300

(注) ※1 医学科は、大学入試センター試験の教科「数学」、「理科」及び「外国語」における各科目の得点を2分の1に換算します。

※2 面接は、段階評価を行い、その評価が最低の場合は、総合点の如何にかかわらず不合格とします。

5. 2段階選抜の実施

各学科において、志願者が募集人員の約7倍を超え、個別学力検査等を適切に実施することが困難である場合は、大学入試センター試験（各学科が指定する教科・科目〔医学科5教科7科目900点満点、看護学科5教科5科目又は6科目700点満点〕）の成績により第1段階選抜を行うことがあります。この場合、第1段階選抜の合格者について個別学力検査等を実施します。

(注) 実施の有無については、2月7日（水）までに本学インターネットホームページ

(<http://www.shiga-med.ac.jp/>) で発表します。また、不合格者には受験票に代えて検定料の返還手続書類を同封します。

6. 受験に関する注意

(1) 個別学力検査等には、滋賀医科大学受験票と大学入試センター試験受験票の両方を必ず持参してください。

また、滋賀医科大学受験票と大学入試センター試験受験票は、入学手続の際にも必要とします。また、滋賀医科大学受験票と大学入試センター試験受験票は、入学手続の際にも必要とします。また、滋賀医科大学受験票と大学入試センター試験受験票は、入学手続の際にも必要とします。また、滋賀医科大学受験票と大学入試センター試験受験票は、入学手続の際にも必要とします。

(2) 注意事項等は、2月23日（金）の午後1時までに受験者注意事項掲示場所（19ページ「学内の略図」を参照）に掲示します。

- (3) 試験当日は、試験開始時刻30分前までに、指定の試験室に入室してください。
なお、試験室は受験票送付時にお知らせします。
- (4) 各筆記試験の試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
なお、面接の集合時刻(試験当日に通知)に遅刻した場合は、受験を認めません。
- (5) 試験に使用できるものは、黒鉛筆(シャープペンシル可)、鉛筆削り(電動式を除く)、消しゴム、メガネ、時計(計時機能のみ)に限ります。
- (6) 昼食(湯茶を含む)を用意してください。
- (7) 志願者に対する宿泊施設の斡旋は行いません。

合格者発表

平成30年3月8日(木) 午前10時(予定)

入学試験掲示場(19ページ「学内の略図」を参照)及び本学インターネットホームページ(<http://www.shiga-med.ac.jp/>)において合格者の受験番号を発表し、合格者には別途「合格通知書」を送付します。

なお、電話による問い合わせには一切お答えできません。

入学手続

1. 日 時

・持参の場合

平成30年3月14日(水) 午前9時から午後5時まで

ただし、やむを得ない事情により上記指定日に手続ができない場合は、上記時間内に下記2へ電話連絡のうえ、平成30年3月15日(木)の午前9時から午後5時までの間に手続を行ってください。

・郵送の場合

平成30年3月15日(木) 午後5時必着

郵送の場合は、平成30年3月14日(水)午後5時までに下記2へ連絡してください。

2. 手続場所(郵送先)

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学 学生課入試室入学試験係 電話 077-548-2071(直通)

3. 納付金等

(1) 入学料 282,000円

(2) 授業料 未定 (参考:平成29年度 267,900円(前期分) [年額 535,800円])

- ① 未定としている授業料の額及び納付の詳細については、合格者に別途通知します。
- ② 前期分の授業料は、本学所定の振込依頼書により平成30年4月中に納付していただくことになります。
- ③ 授業料については、年額を納付することができます。
- ④ 授業料が在学中に改定された場合は、改定時から新しい授業料を適用します。

4. 納付金の免除等

入学料及び授業料には免除及び徴収猶予の制度があり、これに関する手続等については、合格者に別途通知します。

5. 提出書類等

入学手続に必要な書類やその他詳細については、合格通知書を送付する際にお知らせします。

6. 留意事項

- (1) 入学手続には、滋賀医科大学受験票と大学入試センター試験受験票が必要ですので、紛失しないよう注意してください。
- (2) 本学に入学手続をした者は、これを取り消して他の国公立大学に入学手続をすることはできません。
- (3) 本学の指定する期限までに入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取扱います。
- (4) 入学手続の際に提出できない書類等は、後日速やかに提出してください。

出 願 資 格 審 査

出願資格の4（8ページ参照）により出願を希望する者については、事前に個別の入学資格審査（出願資格審査）を受け、認められた場合に限り出願を認めます。

1. 申請書類

- (1) 出願資格認定審査申請書（本学所定の用紙、巻末に綴込み）
- (2) 学校等の概要（目的、正規生徒数、修業年限、教育課程、教科・科目の概要等が記載されたもの）
- (3) 履修したカリキュラム（教科・科目名、単位数等が記載されたもの）
- (4) 卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書
- (5) 成績証明書
- (6) その他の取得した資格を確認できる書類
- (7) その他本学が審査に必要とする書類（他の書類受領後、必要に応じ追加提出を求めることがあります。）
- (8) 審査結果通知用封筒（長形3号封筒に住所・氏名を明記し、362円分の切手を貼付したもの）

2. 申請期間

平成30年1月15日（月）～1月17日（水） 午後5時まで（必着）

平成30年度大学入試センター試験を受験した者に限ります。

期限後は、理由の如何にかかわらず、申請は一切受け付けません。

3. 申請書類の提出先

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学 学生課入試室入学試験係 電話 077-548-2071（直通）

なお、郵送する場合は、書留郵便とし、その封筒の表に「出願資格認定審査申請書在中」と朱書してください。

4. 資格審査の方法

資格審査は、提出された申請書類に基づき総合的に行います。

5. 審査結果

審査結果の通知は、平成30年1月25日（木）までに申請者宛に発送します。出願資格「有」と認定された場合は、出願手続を行ってください。

障害等のある入学志願者との事前相談

障害を有する等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者のための事前相談を行いますので、相談を希望する場合は、あらかじめ申し出てください。

1. 期 限

平成29年12月15日（金）

なお、障害等の程度が軽度の場合は、平成30年1月11日（木）までとします。

2. 方 法

下記の事項を記載した申請書（様式は任意）、平成30年度大学入試センター試験における「受験上の配慮事項決定通知書（写）」及び健康診断書を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

申請書に記載する事項

- (1) 志願者の氏名、住所（連絡先電話番号も記載してください。）
- (2) 志願学科
- (3) 障害等の種類・程度
- (4) 受験上の配慮を希望する事項
- (5) 修学上の配慮を希望する事項
- (6) 出身学校でとられていた配慮事項
- (7) 日常生活の状況

3. 連絡先

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学 学生課入試室入学試験係 電話 077-548-2071（直通）

欠員の補充

合格者の入学辞退等により、入学定員に欠員が生じた場合は、追加合格を行います。

1. 通知方法

入学志願票に記載の住所へ電話により連絡しますので、本人が不在の場合には所在を明らかにしておいてください。

追加合格者は、本学の指定する日時までに入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取扱います。

2. 通知期間

平成30年3月28日（水）～3月31日（土）

3. その他

追加合格によっても欠員を補充できない場合には、第2次募集により欠員補充を行うことがあります。

入試情報サービス

本学インターネットホームページ (<http://www.shiga-med.ac.jp/>) で次のとおり入試情報をお知らせします。毎日更新を予定していますが、土曜日及び日曜日は更新しません。

1. 出願状況

- (1) 期 間 平成30年1月22日(月)～
- (2) 内 容 募集人員、志願者数、志願倍率

2. 追加合格

- (1) 期 間 平成30年3月28日(水)～3月31日(土)
- (2) 内 容 募集人員、入学手続完了者数、欠員数

入学試験個人成績の開示

平成30年度一般入試(前期日程)の個人成績を受験者本人の請求に基づき本人に限って、次により開示しますので、希望者は期間内に申し込んでください。(郵送に限る。)

なお、本学入学者の申込方法については、入学後、案内します。

1. 申込期間

平成30年4月16日(月)～5月18日(金) (必着)

2. 申込方法

- (1) 本学インターネットホームページ (<http://www.shiga-med.ac.jp/>) から『入学試験個人成績開示申請書』(平成30年4月初旬以降に掲載)をダウンロードする。

なお、上記の方法によって申請書が得られない場合には、「個人成績開示申請書請求」と朱書した封筒(大きさ任意)に、申請書送付用封筒(長形3号。受験者の氏名、住所及び郵便番号を明記し82円分の切手を貼付)を同封し、5の申込先へ送付することにより申請書を入手してください。

- (2) 「個人成績開示申請」と朱書した封筒(大きさ任意)に、次のものを同封し、5の申込先へ送付する。

- ① 『入学試験個人成績開示申請書』に必要事項を記入・押印したもの

- ② 滋賀医科大学 受験票

- ③ 成績通知書送付用封筒(長形3号。受験者の氏名、住所及び郵便番号を明記し、392円分の切手を貼付)

(3) 留意事項

- ① 申し込みは郵送に限ります。

- ② 申込期間内に「個人成績開示申請」があったものについて通知します。

- ③ 申し込みは受験者本人に限り、代理人からの申し込みや電話での申し込みはできません。
- ④ 開示申請の際、本学受験票が送付されない場合は受付できないので注意してください。
- ⑤ 申し込みの際に同封された本学受験票は、開示内容とともに返送します。

3. 開示内容

入学試験個人成績総得点（大学入試センター試験と個別学力検査とを合算したもの）を開示します。

4. 開示方法

受験者本人宛の簡易書留郵便で通知します。

なお、確認作業等のため、通知には3週間程度の期間を要します。

5. 申込先・問い合わせ先

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学 学生課入試室入学試験係 電話 077-548-2071（直通）

個人情報の取扱い

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報については、次のとおり取扱いますので、予めご了承ください。

1. 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人滋賀医科大学の保有する個人情報の適切な管理のための措置に関する規程」に基づいて取り扱います。
2. 出願書類等に記載された氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。
3. 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料作成のために利用します。
4. 合格判定資料作成業務（氏名・住所を除く）での利用に当たっては、一部の業務を本学から当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、匿名化された個人情報の全部又は一部を提供します。
5. 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、大学入試センターの受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。
6. 出願書類等に記載された個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

出願書類記入上の注意

黒・青のボールペン又はインクを使用し、自筆で丁寧に記入してください。

※印の欄は、記入しないでください。

入学志願票

1. 1 から 9 までの該当するすべての太枠内項目を記入及び○で囲んでください。
2. 1 「志望学科」欄に○印を記入してください。
3. 4 「生年月日」欄の年・月又は日が1けたの場合は、前に0を付し2けたとして記入してください。
4. 6 「大学入試センター試験受験確認」欄へは、本学が受験を要するとして指定した教科・科目を受験したことを確かめたうえで、確認欄に○印を記入してください。
5. 7 滋賀県医師養成奨学金の貸与を希望する場合は、この欄に○印を記入してください。
(医学科のみ)
6. 8 「合格通知を受ける場所」と「緊急時の連絡先」も必ず記入してください。現住所と同じ場合は「同上」と記入してください。

電算処理原票

1. ①から③の項目は、記入しないでください。
2. ④「平成30センター試験成績請求票（ 前 国公立前期日程用）貼付欄」へ所定のもの
点線内に貼付してください。（前期日程用、後期日程用、推薦入試用及びA○入試用の成績請求票は、それぞれ異なりますので注意してください。）
なお、成績請求票の再発行を受けた場合は、そのみが有効です。

受験票・写真票

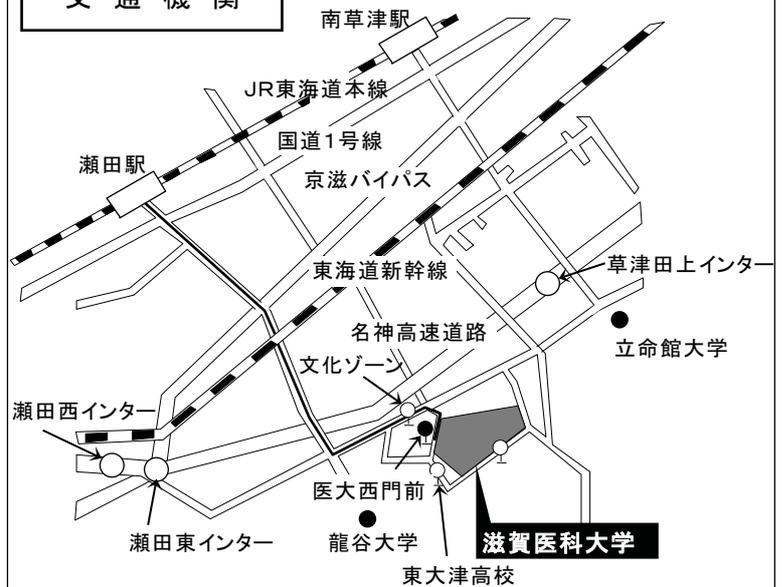
1. すべての太枠内項目を記入及び○で囲んでください。
2. 写真は正面上半身、無帽のものを貼付してください。（写真の裏に氏名を記入してください。）

学内の略図



- ① 一般教養棟
- ② 基礎研究棟
- ③ 基礎講義実習棟
- ④ 福利棟
- ⑤ 臨床研究棟
- ⑥ 臨床講義棟
- ⑦ 管理棟・保健管理センター
- ⑧ 図書館・マルチメディアセンター
- ⑨ 看護学科棟

交通機関



●JR東海道本線(琵琶湖線)瀬田駅前から「滋賀医大」行き路線バス「医大西門前」下車(所要時間約15分)

医学科における研究医の養成について

近年、基礎医学の研究と教育を担う医学研究者が不足しています。本学では基礎系研究医の養成のため、学部教育と並行して研究に関わる機会を提供する研究医養成コースを設けています。

1. 研究医養成コース

- (1) 研究医養成コースは入門コースと登録コースから構成されています。
- (2) 入門コースへの参加は第1学年から可能で、授業時間外での勉学の場を設け、講座への配属を行い、研究医のための動機づけを行います。
- (3) 登録コースでは4つの専攻分野（分子医科学、病理学、法医学、公衆衛生学）から1つを選択し、研究課題を決め、更なる勉学を進め、論文発表の機会を持ちます。最短で、入学から5年目にPhD-MD制度*による大学院進学が可能となる（Aプラン）ほか、専攻分野によっては、6年間の医学科教育の後に大学院に進学する（Bプラン）と卒業臨床研修をしながら大学院に社会人入学する（Cプラン）があります。

*PhD-MD制度

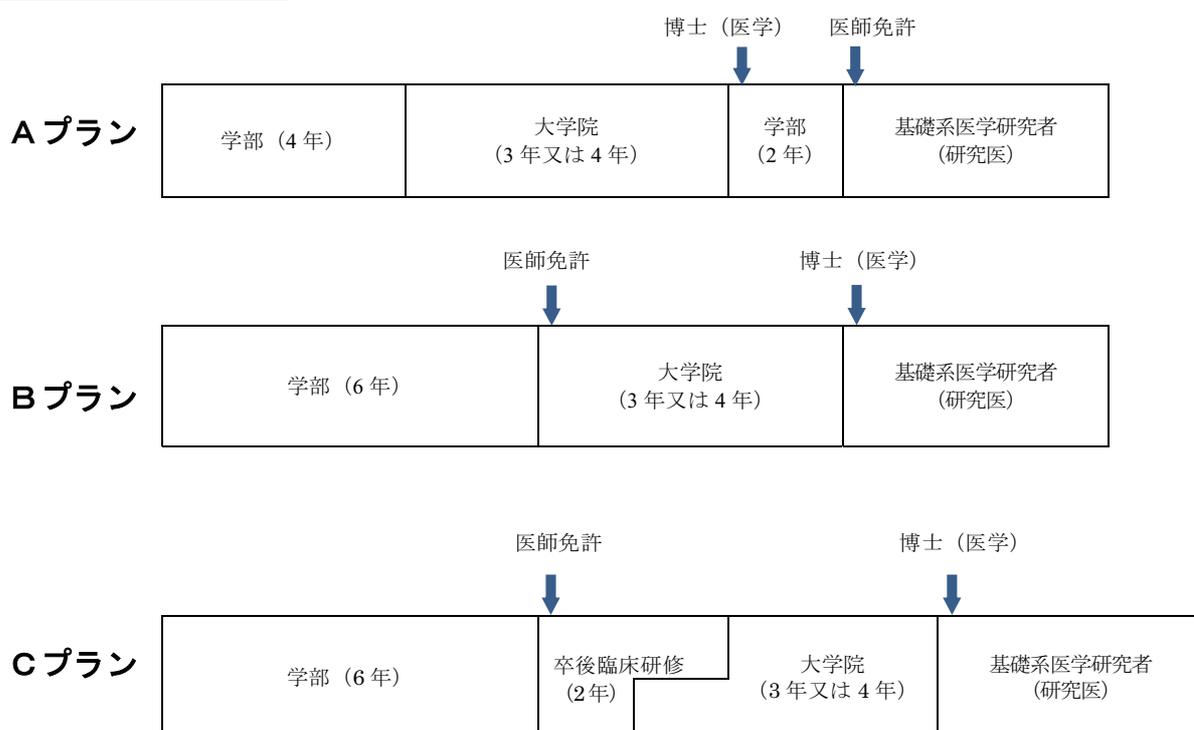
医学科第4学年修了後大学院に進学し、博士の学位（PhD）を取得した後、医学科第5学年に復学し、医師免許を取得する制度で、本学では平成18年度から導入しています。

※平成29年度入学者から適用の教育課程においては、新たな授業科目のひとつとして「基礎医学研究入門」（第1～2学年配当・2単位・選択科目）を開講しています。この授業科目では、興味のあるテーマについて、配属を希望する研究室において実際に研究活動に取り組み、なんらかの成果を出すことを目指すとともに、医学研究の重要性やおもしろさを知り、研究活動への興味関心を惹起する機会を提供しています。研究医養成コースとの連携も図っており、基礎医学研究入門の履修終了後は、研究医養成コースへ参加し研究を継続することを推奨しています。

2. 研究医をめざす人材への経済的支援について

研究医養成コースの学生には、大学院在学期間中、奨学金が貸与されます。

研究医養成コース概念図



大 学 案 内

本学は、昭和49年10月に医学部医学科を設けて開学し、昭和53年10月には附属病院を開院しました。昭和56年3月に第1回卒業生を送り出し、昭和56年には大学院博士課程を設置しました。また、平成6年には医学部に看護学科を、平成10年には大学院に修士課程看護学専攻を設置しました。

医学科においては、6年の教育課程を修了し、卒業を認定された者に対して、学士(医学)の学位を授与します。また、卒業すると、医師国家試験受験資格が得られます。

看護学科においては、4年の教育課程を修了し、卒業を認定された者に対して、学士(看護学)の学位を授与します。また、卒業すると、看護師の国家試験受験資格が得られます。なお、保健師または助産師の課程(いずれも選択制・定員制・学内選抜)を修了した者は、看護師のほか保健師または助産師の国家試験受験資格も得られます。

入学時の諸経費

1. 入学料 282,000 円
2. 授業料 未定(参考：平成29年度 267,900 円(前期分) [年額 535,800 円])
(備考) (1) 授業料については、年額を納付することができます。
(2) 授業料が在学中に改定された場合は、改定時から新しい授業料を適用します。
3. 学生教育研究災害傷害保険(参考：平成29年度)
医学科 4,800 円(6か年分)
看護学科 3,370 円(4か年分)
4. その他の保険(参考：平成29年度)
医学科 学研災付帯賠償責任保険 (1,360 円 1年～4年の4か年分)
看護学科 学研災付帯学生生活総合保険(35,400 円 4か年分)

修学費援助

1. 入学料の免除・徴収猶予制度

入学前1年以内に学資負担者が死亡したり、風水害の被害を被った場合など、特別な事情により、入学料の納付が著しく困難である者を対象に選考のうえ、入学料の全額又は半額を免除する制度、並びに前記理由又は経済的な理由により納付期限までに入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者を対象に選考のうえ、入学料の徴収を猶予する制度があります。

2. 授業料の免除・徴収猶予制度

経済的な理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者又は入学前1年以内に学資負担者が死亡したり、風水害の被害を被った場合など、特別な事情により、授業料の納付が著しく困難である者を対象に選考のうえ、授業料の全額又は半額を免除する制度、並びに徴収を猶予する制度があります。

3. 奨学金制度

(1) 日本学生支援機構

人物、学業成績ともに優れ、かつ経済的理由により修学困難な者は、日本学生支援機構の選考を経て、奨学金の貸与を受けることができます。

なお、日本学生支援機構奨学金の種類と貸与月額は、右表のとおりです。

(2) その他

地方公共団体及び民間の奨学団体による育英奨学金制度があります。

種 類	区 分	貸与月額
第一種奨学金 (無利息)	自宅通学者 自宅外通学者	30,000 円・45,000 円 30,000 円・51,000 円
第二種奨学金 (利息あり) ※ 1		3 万円・5 万円・ 8 万円・10 万円・ 12 万円の中から選択
入学時特別増額 貸与奨学金 ※ 2		10 万円・20 万円・ 30 万円・40 万円・ 50 万円の中から選択 初回の奨学金振込み 時に増額して貸与

※ 1 在学中は無利息、卒業後は 3 % を上限とする利息付き

※ 2 入学時特別増額貸与奨学金だけの貸与はできません。

(日本政策金融公庫の国の教育ローンを利用できなかった者等に限る。)

学生教育研究災害傷害保険

この制度は、学生が被る種々の教育研究活動中の災害に対して、これを救済する補償制度です。

本学では、入学手続時に全員が加入することを原則としています。

教育研究活動中とは、正課中、学校行事に参加中、学校施設内での休憩中、課外活動中又は学校施設外で大学に届け出た課外活動中及び通学中等をいい、これらの活動中に被った急激、かつ偶然な外来の事故による身体の傷害が保険金支払いの対象となります。

保険金の内容

事 故 区 分	保険金の種類	支払保険金額	入院加算金
正課中及び学校行事に参加中	死 亡	2,000 万円	入院 1 日につき 4,000 円 (左記の金額に加算されます。)
	後遺障害	3,000 万円まで (その程度に応じて)	
	医 療	30 万円まで (治療日数 1 日以上)	
通学中、学校施設等相互間の移動中	死 亡	1,000 万円	
	後遺障害	1,500 万円まで (その程度に応じて)	
	医 療	30 万円まで (治療日数 4 日以上)	
上記以外で学校施設内 にいる間及び学校施設 外での課外活動中	死 亡	1,000 万円	
	後遺障害	1,500 万円まで (その程度に応じて)	
	医 療	30 万円まで (治療日数 14 日以上)	

ア パ ー ト 等

学生寮がありませんので、本学周辺のワンルームマンション等住居の情報提供を行っています。部屋代は、地域によって異なりますが、ワンルームマンション（6畳・バス・トイレ付き）で4～6万円位です。

ア ル バ イ ト

希望する人には、家庭教師を中心とした修学に支障のない程度のアルバイトを紹介しています。

課 外 活 動

課外活動施設として、体育館、武道場、グラウンド、テニスコート、水泳プール、ヨット艇庫、ボート艇庫、音楽棟、クリエイティブ・モチベーションセンター等があり、次のクラブ等が活動しています。

文化系 写真部、軽音楽部、コンピュータークラブ、SUMS ESS、美術部、管弦楽団、囲碁・将棋部、混声合唱団、茶道部、遊書会、アカペラサークル、国際保健・地域医療研究会 TukTuk、学習支援ボランティアサークル アトラス、園芸部、医学研究サークル Affiniche、救急医療研究サークル SALSA、若鮎祭実行委員会、ダンスサークル AMU'S、しがぬいぐるみ病院、学生医療勉強会 Team Biwa、大道芸サークル -PATCH- リレー・フォー・ライフ・ジャパン滋賀医科大学実行委員会

体育系 バドミントン部、硬式庭球部、剣道部、サッカー部、バスケットボール部、ラグビー部、スキー部、バレーボール部、準硬式野球部、ヨット部、水泳部、端艇部、ハンドボール部、ワンダーフォーゲル部、陸上競技部、ソフトボール部、柔道部、ゴルフ部、合気道部、スノーボード部、空手道部、卓球部、フットサルサークル

福 利 ・ 厚 生

学内には、生協（食堂・売店・書籍）、コンビニエンスストア、コーヒーショップ、理髪室、簡易郵便局、キャッシュコーナー等があり、日常生活の便宜が図られています。

健 康 管 理

学生の健康管理のために、保健管理センターを設置し、健康で明るい学生生活が送れるよう、常時、医師及び看護師が、けがや病気の際の応急処置のほか、健康診断をはじめとする集団検診、健康相談、カウンセリング及び保健指導を行っています。

また、本学は敷地内全面禁煙の宣言を行い、国民の健康を守ることを使命とする医療人育成に全力を挙げて取り組んでいます。

通 学 の 交 通 機 関

JR 東海道本線（琵琶湖線）瀬田駅（新快速は停まりませんので普通電車をご利用ください。）から、路線バスで約15分です。

なお、自動車通学は、原則として認めていません。

整理番号

平成30年度滋賀医科大学出願資格認定審査申請書

(出願資格の4により出願を希望する場合のみ提出してください。)

平成 年 月 日

滋賀医科大学長 殿

貴学への入学を希望します。

ついては、出願資格の認定を受けたいので、所定の書類を添えて申請します。

ふりがな
氏名

男・女

(西暦 年)

昭和

年

月

日生

平成

現住所

〒

連絡先

電話

—

—

携帯電話

—

—

履

学習歴

(小学校

又は同等

の教育施

設入学か

ら記入)

自 年 月 日

至 年 月 日

自 年 月 日

至 年 月 日

自 年 月 日

至 年 月 日

自 年 月 日

至 年 月 日

自 年 月 日

至 年 月 日

歴

職 歴

自 年 月 日

至 年 月 日

自 年 月 日

至 年 月 日

自 年 月 日

至 年 月 日

免許・

資格等

年 月 日

第 号

年 月 日

第 号

検定料振込用紙等

- ※1 下切り取り以下の用紙により、平成30年1月9日(火)から1月31日(水)の期間に振り込んでください。
- 2 右の台紙に「振込金受領証明書」を貼り付けたものを関係書類と共に送付してください。

検定料納付確認書

この枠内に振り込み後の「振込金受領証明書」を貼り付けてください。

C 振込金受領証明書 (大学提出用)

金額	¥17,000-
受取人	滋賀医科大学 (フリガナ) 志願者氏名

取扱銀行収納印

1

A 振込金(兼手数料)受領書 (本人保存)

依頼日	年月日
金額	¥17,000-
先銀行	滋賀銀行・瀬田駅前支店 関西アーバン銀行・草津南支店 三菱東京UFJ銀行・草津支店
受取人	滋賀医科大学 志願者氏名(フリガナ)
消費税込 手数料	

上記の金額正に受取りました。

取扱銀行収納印

2

銀行

支店

B

(〇印取りまじめ電送金してください。)
右記を必ず電送金してください。)

電信扱

依頼日	年月日	振込指定 口座番号
先銀行	預金種目	
滋賀銀行・瀬田駅前支店	普通	0146970
関西アーバン銀行・草津南支店	普通	0514443
三菱東京UFJ銀行・草津支店	普通	1102147
受取人	シカ・イカタ・イカ・ク 滋賀医科大学	
志願者氏名(フリガナ)	志願者氏名(フリガナ): もれのないよう打電してください。	
氏名(漢字)		
住所	〒 TEL	

振込依頼書 (取扱店保存)

手数料ご依頼人負担

科目	電信扱	消費税込 手数料	円
金額		¥17,000-	
現金			
内			
当手			
他			
手			
教			
教			
10,000		0,000	100
5,000		0,000	50
2,000		0,000	10
1,000		0,000	0
500		0,000	0
		合計	
		00	つり銭

取扱銀行収納印

3

〇取扱銀行へお願い

- ①本線内を必ず打電してください。
②金額の訂正はできません。
③収納印は1・2・3にもれなく正確に押印し、A・C票は必ず依頼人にお返しください。
④滋賀銀行以外の銀行・信用金庫から振り込まれる場合は手数料が必要です。
⑤本振込依頼書は、平成30年2月1日以降は取り扱わないで下さい。



入学者選抜等に関する照会先

滋賀医科大学 学生課入試室入学試験係
〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

TEL 077-548-2071

E-mail hqnyushi@belle.shiga-med.ac.jp

<http://www.shiga-med.ac.jp/>



<http://daigakuje.jp/shiga-med/>